

読者の皆様へ

本書はグローバルヘルス外交を実施するうえでの基本的な考え方と実践的な側面に焦点を当てている。私たちは、初めてこのトピックに触れる方が、グローバルヘルス外交の背景やシステムをよりよく理解し、関連する実践的なアプローチに精通されるために役立つことを期待している。

本書は、次の3つのパートで構成されている。(a) この分野の基礎知識、(b) 多国間空間における保健交渉の特徴、(c) グローバルヘルス外交を成功させるための要素。各パートの各章に主要な情報が記載されている。各章は必ずしも連続して読む必要はないが、本文の構成はそのような論理に従っている。いくつかの側面（手段、一貫性、主要機関の役割など）は、いくつかのパートに関連しているため、本文中では意図的に重複を残し、該当する場合は相互参照先を追加している。また、招待された寄稿者によって書かれた特別なトピックに関するテキストボックスも含まれている。さらに深く知りたい方のために、様々な出版物やその他のリソースをリストアップした付録を用意した（本文中の引用はハーバード方式で示されており、付録を参照している）。

また、私たちは、本書とその構成が、グローバルヘルス外交の教育に携わる人にとって有用なリソースとなることも期待している。10年以上にわたって様々な状況や環境でこのトピックを教えてきた私たちの経験をもとに、レビュアーから寄せられた多くの洞察に満ちたコメントが盛り込まれている。1週間のコースであるすべてのトピックをカバーすることは可能であるが、学生が特定のケース・スタディ、特にコースが行われる状況に関連したケース・スタディをより深く知るための十分な時間を確保する必要がある。コースの1日は、学生によるグローバルヘルス交渉のシミュレーションに充てることができる。